

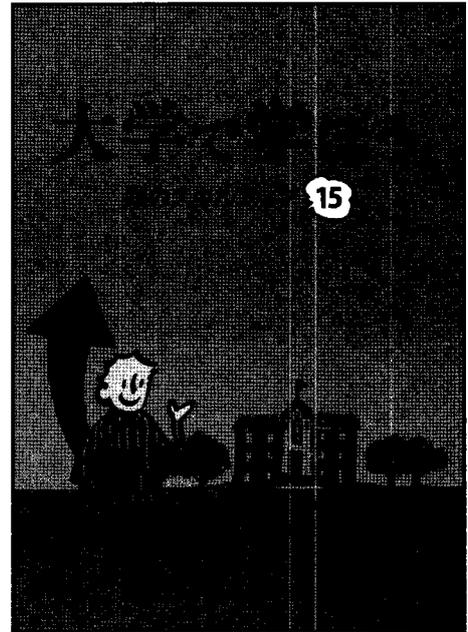
<会員による自著紹介>

## 大学で学ぼう 知のスキルアップ 15

漢字文献情報処理研究会(編)  
師 茂樹<sup>1)</sup>・上地宏一<sup>2)</sup>・小島浩之<sup>3)</sup>・  
佐藤仁史<sup>4)</sup>・田邊 鉄<sup>5)</sup>・千田大介<sup>6)</sup>・  
二階堂善弘<sup>7)</sup>・山田崇仁<sup>8)</sup>

1)花園大学・2)大東文化大学・3)東京大  
学・4)一橋大学・5)北海道大学・6)慶應義  
塾大学・7)関西大学・8)立命館大学

好文出版(2013年発行)  
定価 1,800円(税別)



本書は、スタディ・スキルズの習得を中心とした初年次教育向けの教科書である。一般的な初年次教育の教科書とは異なり、ICTの利用に力を入れた内容になっている。ワープロ、プレゼンテーションソフト、表計算ソフト、インターネット上のリソースを使ったレポート執筆の方法、メールの書き方やSNS利用の注意点、さらにはオンライン会議システムを使ったミーティングなどにも言及している。

また本書は、15回の授業を念頭に置いた全15課の構成となっており、各課には授業中に使える各種ワークとワークシートが付いている。教授マニュアルや実習用データが入ったCD-ROMも用意しているので、教科書候補の一冊として、また授業作りの参考書として、手にとっていただければ幸いである。

本書を編纂したのは、人文学(特に東洋学、中国語学教育)におけるICT利用についての研究と情報交換を行うために発足した学術団体である。本会ではこれまで、人文系の学生に対する情報処理教育はどのようなものが望ましいのか、というテーマで議論を重ねてきており、その一端は機関誌『漢字文献情報処理研究』の特集記事などで発表してきた。本書は、人文系を中心とした初年次の学生を、ICTを積極的に用いる学習、研究へと導くにはどのようにすればよいのか、という問題への一つの回答である。その点についてもご批評いただければ幸いである。